



行政を望ましい姿に変えていく

内閣官房内閣人事局
〔マネジメント能力向上推進専門職〕

小池 紗恵子 KOIKE Saeko

平成 30年 4月 総務省採用
行政管理局管理官付〔独立行政法人評価総括担当〕
併任 企画調整課（～元年7月）
併任 大臣官房秘書課（～30年7月）
令和 元年 7月 内閣官房内閣総務官室〔調整第2担当主査付〕〔企画第3担当主査付〕
令和 3年 7月 公害等調整委員会事務局総務課企画法規係長
令和 4年 7月 総務省行政管理局主査
令和 5年 4月 同 行政評価局政策評価課専門職
令和 6年 7月 現職

これまでの経験を振り返って

時代の変化や多様化する国民の価値観・ニーズを踏まえて課題を捉え、論理的に政策を立案することが、今行政に求められています。これまで私は総務省本省、外局、出向先の内閣官房で様々な業務に携わってきましたが、どれも「行政を望ましい姿に変えていく」ことにつながるものであったと感じます。

各府省の政策プロセスにおける疑問に寄り添って

前職の行政評価局では、EBPMの実践を後押しするため、各府省と共同で様々な政策の効果検証を実施しました。各府省はそれぞれ所管する事業のプロフェッショナルではありますが、その政策プロセスにおいては種々の疑問を抱えています。行政評価局は、そうした疑問に寄り添い、共に調査・研究を行うことで、望ましい政策立案、望ましい政策実施、望ましい政策評価・改善の浸透・定着を目指しています。私自身も調査設計やデータ分析を行うなど、効果検証のプロフェッショナルに近づけるよう努めました。政策立案において、データ等を用いて解決すべき課題を的確に把握し、論理的考察に基

づいて適切な手段を取捨選択することは重要です。このことを常に意識するようになった行政評価局での経験は、私の中でひとつの軸となっています。

今度は「人を活かすプロフェッショナル」として

現在、私は内閣人事局に出向し、行政組織の運営の要となる幹部・管理職員のマネジメント施策の企画立案を担当しています。職員の働き方に対する意識や価値観が多様化する中で、政策課題の複雑化・高度化も進展しており、組織成果を最大化するためには、組織の方針に沿って計画どおり業務を管理する従来のマネジメントだけでなく、職員一人一人の成長を加速させる人材開発や、組織力を高める組織開発の重要性が高まっています。人を活かすプロフェッショナルとして時代に即したマネジメント手法を開発・提供することが、現在の私のミッションです。

私たち総務省職員のミッション

総務省職員の活躍の場は、省内のみならず、内閣人事局をはじめ内閣官房などにも広がっています。その中で、「時代の変化や多様化する国民の価値

観・ニーズに向き合い、行政を望ましい姿に変えていく」というミッションは共通していると感じます。こうしたマインドを持つ方は、きっと総務省でやりがいを持って働くことができるでしょう。



打合せ中の1枚。内閣人事局には用途に応じた打合せスペースが複数あります。



フレックスタイム制を活用し、定時後は2歳の子どもと過ごします。

皆さんは、「計画的偶発性理論」をご存知でしょうか。キャリアの8割は偶然の要素によって決定されており、言い換えると、偶然の出来事がキャリア形成において大きな影響を与えるという考え方がそうです。

自分を振り返れば、入省以来思わぬ業務に携わることもありましたが、「行政そのものや、国家公務員の働き方を良くする」という点において、その当時では思いもよらなかった知識が後になって役に立つこともあり、それなりに一貫した仕事に関わらせてもらえてきたようにも思います。

計画された偶然？

例えば1年目、行政管理局の総括係で行政手続法や国のシステムに関する俯瞰的な知識を得たことで、後に官報の電子化に関する法案の検討チームに出向した際、かつての資料や当時の記憶などを元にチームをサポートすることで、新しい法律の誕生という貴重な場面に立ち会うことができました。2、3年目に出向した内閣人事局で、人材戦略やタレントマネジメントなど官民共通の人事業界のホット 이슈に触れた経験は、総務省のDXと働き方改革の両輪を担っている現在のポストでも、何かし

ら還元したいと日々模索しているところです。最近では省内の生成AI利活用などにも携わっており、資料のアイデア出しや業務効率化のためのコード作成など、日々の業務のベースに取り入れることで、自分自身の業務改善にもチャレンジしています。

思処

前述の「計画的偶発性理論」によれば、偶発的な出来事に柔軟に対応することや、チャンスに出会うために積極的に行動することが、新たなキャリアを開くことにつながっていくそうです。環境変化が著しく予測が難しい現代において、これを読んでいる皆さんも、これまで予測不可能だった出来事を多く経験しているでしょうし、この先もまだまだ想像を超える事態が様々あると思います。しかし、その中で柔軟に対応し、新たな道を切り開くことが、よりよい国家のOSを作ることにつながるのだと考えています。総務省を皆さんの将来の選択肢に加えてもらえたら幸いです。



音楽は聴くのも弾くのも必須の息抜きです



休日に同期と



偶然の出来事に合わせて

大臣官房企画課サイバーセキュリティ・情報化推進室総括係長
併任 秘書課働き方改革・業務見直し推進室室員

小林 美紗子 KOBAYASHI Misako

令和 2年 4月 総務省採用
同 行政管理局企画調整課
令和 3年 4月 内閣官房内閣人事局
〔企画第一係員、総人件費に係る業務、デジタル化推進担当〕
令和 4年 7月 内閣官房内閣人事局〔企画第一係員、人材戦略担当〕
令和 5年 4月 内閣府大臣官房総務課官報電子化検討室主査
令和 6年 4月 現職